

みんなが笑顔になれる川越にしたい

2021年11月発行

川越市議会議員（自由民主党川越市議団）

牛くぼひさし

市政報告 2021 秋号



一般会計補正予算（第6・7号）	第6号	18億1,888万8千円増	（補正後予算額1,169億8,001万6千円）
	第7号	4億3,845万2千円増	

主な内容	第6号
------	-----

- キャッシュレス決済消費活性化事業**
 コロナ禍で影響を受けている市内飲食・小売業等における消費の拡大とキャッシュレス決済の普及促進を図るため、キャッシュレス決済のポイント還元を実施する。
 ・実施期間…令和4年1月を予定 ・ポイント付与率…25%を予定
- 市内タクシー事業者への運行継続支援**
 市内生活を支える公共交通として、運行を継続をしている市内のタクシー事業者に対して支援金を交付。
 ・市内の法人タクシー事業者…基本額：50万円、加算額：1車両当たり3万円
 ・市内の個人タクシー事業者…1事業者当たり3万円
- 感染拡大に伴う医療機関や保健所等への対応**
 感染者や入院者数の増加が継続する中、医療機関や保健所等への対応を図ることで今後の感染拡大に備える。
 ・新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保協力金 ・感染症入院医療費の公費負担（増額分）
 ・積極的疫学調査等業務（増額分） ・民間救急等を利用した患者搬送（増額分）
- 新型コロナウイルスワクチン接種業務（増額分）**
 ワクチン接種業務を円滑に実施するため、接種体制に係わる運営経費とともに時間外・休日接種の加算分について、10月以降に見込まれる経費を増額する。
- 行政のデジタル化の推進**
 住民サービスの向上や業務の効率化などを図るため、行政のデジタル化を推進する。
 ・美術館、川越まつり会館における動画配信サイトを活用した情報発信のためのパソコン等の購入
 ・都市計画情報及び建築確認申請等受付台帳の電子データ化・図書館の電子書籍の追加購入
 ・学童保育室における情報端末の増設や業務用ネットワーク環境の整備等

主な内容	第7号
------	-----

- 中小企業者事業継続支援金（令和3年度第2弾）による支援
- 新型コロナウイルス感染症患者等入院病床棟確保協力金による支援（増額分）
- 分散登校等でのオンライン授業の実施等
- 小・中学校等の教室等への二酸化炭素モニターの設置
- 本庁舎、保健所等での感染機会の削除のための電話機増設

※9月・12月定例会は代替
 議場で本会議を開催 →
 （牛くぼ：一般質問で登壇）



自由民主党川越市議団令和4年度施策要望書

自由民主党川越市議団で、川越市長へ令和4年度施策要望書を提出いたしました。

- 【重要施策要望】
1. 新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の再生・活性化
 2. 災害に強いまちづくりの推進
 3. 少子高齢社会での福祉の充実
- ※マスクは写真撮影用に外しておりますのでご了承下さい。（牛くぼ：左から2番目）

牛くぼひさし 9月定例会一般質問 (一部抜粋)

□刻々と変わる自然災害に対する防災意識の向上のために

令和3年8月9日に国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、人間が地球の気候を温暖化させてきたことに「疑う余地がない」とする報告を公表いたしました。このことを踏まえて、一般質問をさせていただきました。

質問 最も新しい地球環境への世界的な考えを踏まえ、市としての考えについて

回答 市といたしましては、本年5月に「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し2050年脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進していくこととしておりますが、今回の報告書を受けまして、私たち一人ひとりが地球温暖化対策の重要性を再度認識し、取り組んでいく必要があると考える。

質問 児童生徒に対する水害に係る避難行動等についての指導について

回答 災害時においては、児童生徒が、「自らの命は自ら守る」意識のもと、自らの判断で避難行動がとれることが重要です。水害に対する授業等を実践してまいりましたが、令和元年度からはモデル校を指定し、外部指導者による、水害時での取るべき行動等についての授業を行っております。ここでは、知識として、「防災気象情報をもとにとるべき行動」や「警戒レベル」の内容について教えたり、自分の身を守るための適切な行動について考えさせたりしています。

質問 災害時に配慮が必要な方に対する取組について

回答 本市では、高齢者や障害者など災害時に自力で避難することが困難な方々の避難支援を、地域における共助を基本とし、支援体制の整備・充実を図ることを目的として、「川越市避難行動要支援者避難支援全体計画」を定めており、該当要件に基づき避難行動要支援者の名簿を作成するとともに平常時から地域へ情報提供することに同意した方の外部提供用名簿を作成し、自治会や民生委員等の避難支援等関係者へ情報提供し、地域における避難支援体制の整備に役立っているところ。

質問 地球温暖化に伴う気候変動により自然災害が増すことで、市民一人ひとりがより一層防災に対する意識を高めていく必要があると思うが防災意識向上に対する市の取組について

回答 近年、全国的に台風や集中豪雨による気象災害が頻発・激じん化し大規模水害が多く発生しておりますが、地球温暖化に伴う気候変動等の影響もあり、今後も水害リスクは高まることも想定されるところでございます。水害時に安全を確保するためには、日常生活において自ら居ることが多い自宅や施設の水害リスクを把握するとともに、適切な避難行動や避難のタイミングは各家庭により異なるため、立ち退き避難が必要な場所なのか上階への移動などで命に危険が及ぶ可能性がなくなるかなどについてあらかじめ確認し、水害時にとるべき行動を自ら決めておくことが重要となります。市民の皆さんに対しましては、水害ハザードマップを活用しマイ・タイムラインを作成するなど、避難行動についてあらかじめ検討してもらえるように、これまで広報川越や市ホームページ等を通じて周知しており、今後も引き続き取り組んでいく。



牛くぼひさしプロフィール ～『子育て+介護』世代、誰もが住んでよかったと思える地域づくり～

- 昭和51年9月14日生まれ 柔道五段
- 私立八千代松陰高等学校卒業 井上康生と柔道関東大会決勝戦にて僅差判定で敗れる
- 明治大学商学部商学科卒業 全日本学生柔道優勝大会 明治大学団体戦優勝
- 京葉ガス株式会社入社 実業団柔道で活躍
- 京葉ガス株式会社退社 結婚し埼玉県川越市民となり全盲の両親と同居
- 全盲の市議会議員牛窪多喜男の秘書を務めながら柔道整復師国家資格取得
- 2019年川越市議会議員に初当選
- 保健福祉常任委員会（副委員長）

※子供一男一女に恵まれながら現在6人家族+（盲導犬：ジョージ）

事務所 〒350-0027
 住所 川越市南田島242-1
 電話 049-243-9425
 ホームページ ushikubo-hisashi.com

牛くぼ ひさし 検索